

# 追加募集（先着順）

## ESD 演習 I（環境経済学 I）・ESD 演習 II（環境経済学 II）の履修について

### ※注意※

履修科目の区分が入学年度によって異なりますので注意して下さい。

◇2015 年度以前入学者：経済学部専門科目 ◆2016・2017 年度入学者：高度教養科目

### － 履修者募集要項 －

## ●ESD 演習 I（環境経済学 I）・ESD 演習 II（環境経済学 II）

（担当：小島理沙・石川雅紀・大橋博一）

2019 年度 ESD 演習 I は、プラスチック廃棄物問題をテーマに、フィールド調査の設計を行う。散乱ごみ調査等の先行事例等を研究・応用し、調査目的に沿った調査設計を作成する。ESD 演習 II は、ESD 演習 I の設計に基づいて、神戸市内の港湾あるいは砂浜等をフィールドとした演習を開講する。

### 【日程】

ESD 演習 I	2019 年度前期 Semester	フィールド調査の設計を主な課題とする。
ESD 演習 II	2019 年度夏期集中	ESD 演習 I で設計した調査の実査と分析
	2019 年 8 月 21 日（水）	1～5 限 座学（教室）調査準備・段取り
	2019 年 8 月 22 日（木）	フィールド調査
	2019 年 8 月 23 日（金）	調査結果まとめ・分析

### 【ESD 演習 II の演習予定地】

神戸市内 港湾あるいは砂浜等を想定 ESD 演習 I における調査設計により変更あり  
（ただし神戸市内は変更しない）

### 【履修者への注意】

1. グループワークをメインに行うため、ESD 演習 I の履修者数の上限を 20 名とする。また、ESD 演習 II も、実地演習とする都合上、履修者数の上限を 20 名とする。履修希望者が上限を超えた場合は、ESD コースの趣旨から、所属学部、学年の多様性及び、主体的取り組みを重視し選考する。
2. 履修希望者は、履修の動機、この演習で何を学びたいのかについて、科目ごと（ESD 演習 I・II）にそれぞれ 400 字程度のレポートを提出すること。
3. 演習の性質上、参加する事を重視するので、ESD 演習 II は、一コマでも欠席した場合は単位を認めない。
4. レポートは履修登録期間内に経済学部教務係窓口へ提出すること。（先着順で受け付けます）
5. 成績評価は、出席、レポート、フィールド活動、討論での貢献を総合して評価する。